



目次

- 自己紹介
- すべてのはじまり（竹との出会い）
- 竹でタオルを作る
- 工場を作る

ethical bamboo CONFIDENTIAL 1

自己紹介

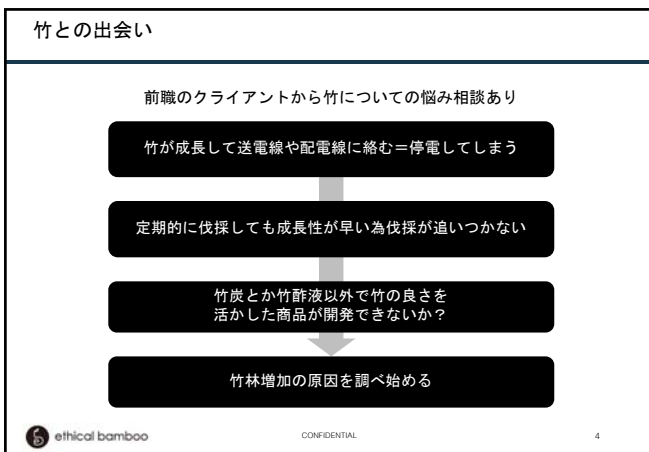
エシカルバンブー株式会社 代表取締役 田澤恵津子

大手商社、大手人材会社、ソニー株式会社、株式会社博報堂、日本ロレアル株式会社をへて2006年よりフリーのプランナーとして活動開始。
東京電カグループ、ソニー株式会社、椿山荘をはじめ、複数社と契約。
企業ブランドの軸となる商品開発・商品マーケティング・プロモーション企画業務を行う。経産省からの中小企業及び地域支援のブランディングの専門家として地域や中小企業のブランド育成にも従事。2007年より竹タオルの企画販売スタート。2016年より山口県防府市の自社工場にて洗剤企画・製造販売をスタート。

ethical bamboo CONFIDENTIAL 2

エシカルバンブーの歩み
すべてのはじまり

ethical bamboo



竹の問題

竹林の放置・拡大が里山の保全でも大きな問題になっている



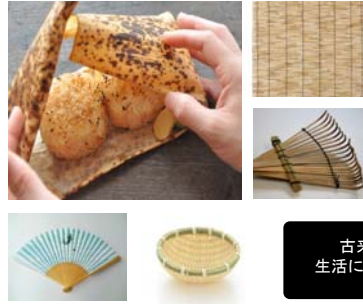
河川へ流れる事により生態系を破壊



家屋を倒壊させている様子

竹林の増加をとめるためには竹の消費量を増やす必要がある

古来から使用されてきた竹（過去）



竹

古来より竹は日本人の生活にかかせない物だった。

古来から使用されてきた竹（現在）



竹

に代わる製品

プラスチックなどの安価な工業製品が増えた影響で竹の消費量が減ってきた

マイナスの発想をプラスに転換

竹害問題などでマイナス面が目立つ竹。
素材としてのプラス要素を活かす方法を生み出すことで
消費量を拡大することで継続的に使用する流れを構築。

マイナス要素

成長性が早く伐採が困難

竹林が増加すると他の樹木の成長を妨げ、森林崩壊につながる

プラス要素

計画的に使用していくことで循環型資源として半永久的に利用可能

抗菌力や消臭力がある

日用品として常に消費される商品の開発が必要

竹でタオルを作る：開発へのこだわり

商品開発する上でのこだわり

竹を計画的かつ継続的に使用する

竹の機能性を活かす

毎日多くの人が使用する日用品である

エシカルバンブーの歩み
企画会社として竹の事業スタート
竹でタオルを作る

竹でタオルを作る：調査

竹の利活用事例が多く、産業として成功していた中国を調査。
建築資材、家具、食器、玩具、繊維等
多岐に渡り竹が活用されていた

竹を継続的に
使用する

日用品である

竹の機能性を活かす



竹タオル

竹タオル製造方法



竹



チップ



加工



竹タオル

竹繊維の特徴

1. エコロジー素材
2. シルクのような肌触り
3. 防臭性
4. 接触冷感
5. 吸収性

製造スタートまでの課題と解決方法

1. 竹繊維の製造で環境面を配慮した工場を探す
→ 25か所の工場視察 → **優良な工場との出会いでクリア**

2. 日本竹の利用が困難なことが発覚
→ 工場との交渉を重ねる → **製造リスクを背負うことでクリア**

3. 日本の竹を運ぶ
→ 伐採と運搬費用発生 → **千葉県との協働でクリア**

製造スタート：品質面の課題及び解決方法

品質面での意識の違い



日本の品質管理を学ぶため今治工場を視察。
品質面や生産面・検品体制を学び体制を強化。

製造スタート：品質面の解決方法 1

- ・ブランド管理チーム結成（自分のプレーンを作る）
- ・検品方法の見直し
（指示書の作成、限度見本の作成、検品作業場の流れを全て変更）



製造スタート：品質面の解決方法2



3万枚の検品作業を実施

竹タオルの完成



事例1 ソニー株式会社とのコラボレーション

竹繊維100%エコバッグ商品開発

2008年：ソニーディーラーコンベンション（国内・海外 使用）

2009年：WCES（ラスベガス）にて使用



事例2 株式会社ボマト・プロとのコラボレーション

世界初、竹繊維を使用したスヌーピー風呂敷



事例3 自然公園財団とのコラボレーション

絵本と竹タオルのセット商品開発

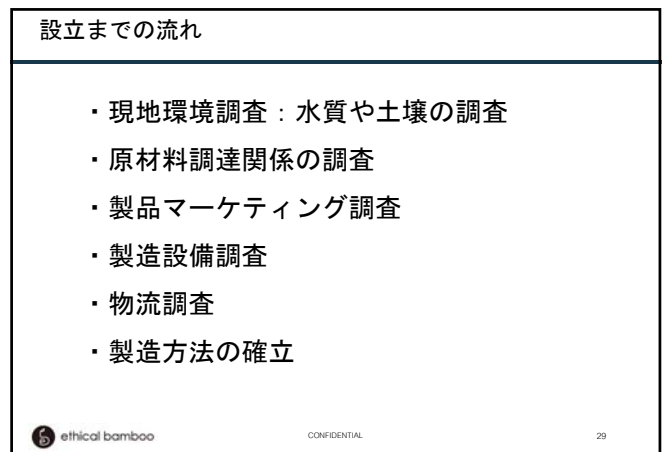
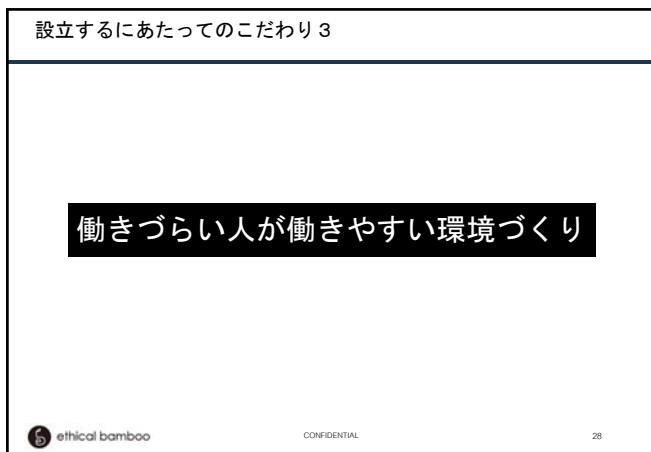
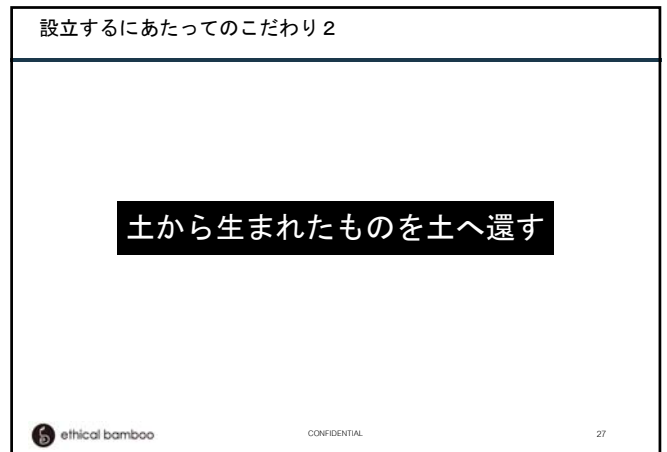
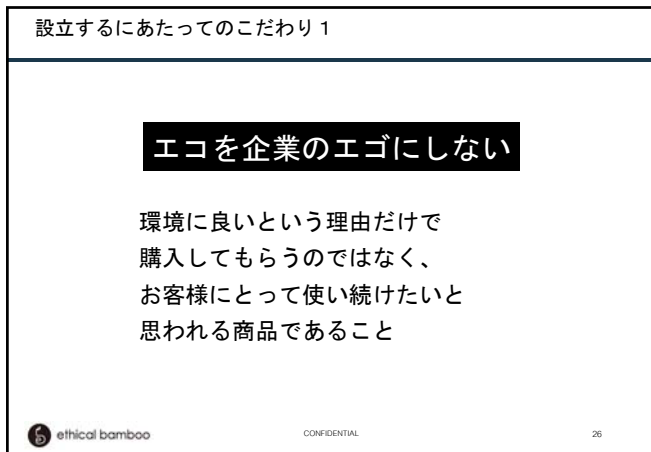
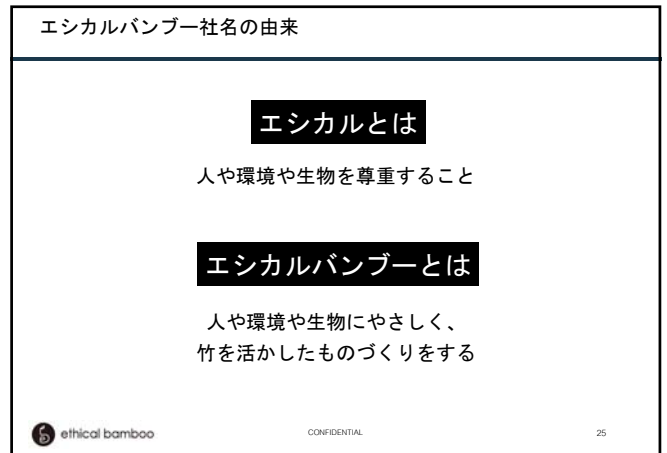


全てが順調だったわけではありません

中国側の商社が逃亡

日本竹を中国に持ち込むことが出来ない

商品品質の安定に2年以上試行錯誤



なぜ山口県防府市なのか？

- ・竹のミネラルや竹炭を製造していた防府市の会社を事業継承
- ・竹林の問題で全国3～4位（山口県）
- ・ミネラル豊富な良質な水源（防府市）
- ・自然災害が少ない
- ・地元の方々のサポート

山口へ自社工場設立



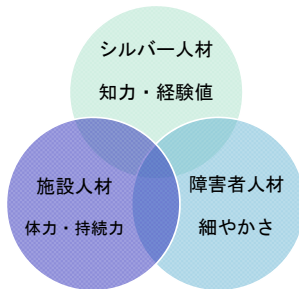
竹洗剤を製造するための工場を
2016年9月29日に山口県防府市に設立



平均年齢65歳

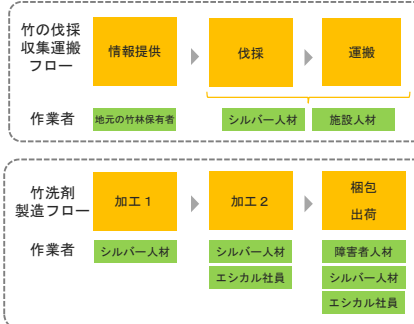
働きづらい人たちが働きやすい仕組みづくり

強みを活かす体制づくり



地方にいる「働きたいけど働けない」というシルバーや障害者、施設の若者などが働きやすい仕組みやフローを作ることにより、地方での人材確保が可能となった。

伐採・収集フロー、商品製造フロー



エシカルバンブー株式会社 関係組織図



エシカルバンブーを設立したことにより、竹林の保有者や近隣住民から竹の伐採に関する情報や相談がくるようになり、伐採に関する協力を得る流れが構築出来た。近い将来に竹を買い取る仕組みを構築予定。

竹の活用状況（自社商品ラインナップ）



バンブークリア
(竹洗剤)



バンブーミスト
(アウトドアスプレー)



竹のやわらかタオル
(竹繊維100%タオル) 海外生産

販売先

- ・ 蔦屋、イオン、東急
- ・ 産婦人科
- ・ アレルギー専門美容室
- ・ 幼稚園
- ・ 国立公園
- ・ セレクトショップ
- ・ OEM販売
- ・ ネットショップ

バンブークリア（竹洗剤）のご紹介



製品開発ポイント

・品質面の改良や安定生産

→製造設備の増設

・化学的な根拠の追求

→製薬会社との研究開発

産業技術センターや大学との連携

バンブークリア（竹洗剤）とは

日本の竹からこだわりの自然抽出製法で
温度調節等を行いながら1ヶ月半～2ヶ月
かけて作った天然成分100%の無添加洗剤

先人たちの知恵に学び、手間暇かけて
シンプルながらも汚れをきちんと落とす、
安心・安全でエコな洗剤をつくりました。



原料は“3つの天然成分のみ”

① 竹炭 ② 竹炭灰 ③ 湧き水



山口県防府市の竹から作られた
竹炭と竹炭灰のみを使用



山口県防府市のミネラルを
豊富に含んだ湧き水のみを使用

4つの特徴

赤ちゃんや肌の弱い方にも安心

界面活性剤・漂白剤・柔軟剤・香料等は一切使用していないので、
泡が立たず、繊維に余計なものが残る心配もない為、肌への負担も
少なくなり赤ちゃんや敏感肌の方にも安心してご使用いただけます。

環境にやさしい

無添加洗剤なので洗濯排水によって河川を汚しません。
界面活性剤が入っていないので、泡がたらず、すすぎが回すすみます。

柔軟剤をいれなくてもふっくら

天然竹炭のミネラルによってふっくらやわらかな仕上がります。

消臭効果

衣類・洗濯槽のイヤな臭いを軽減します。

バンブーミスト（アウトドアスプレー）の特徴

国産竹から生まれた天然アウトドアスプレー



バンブータオル（竹のやわらかタオル）の特徴

竹繊維100%の竹のやわらかタオル

【肌触り】

まるでシルクのようななめらかさ、驚きの肌触り
思わず頬ずりしたくなるやさしいやわらかさ

【防臭性】

安心の100%天然素材を使用。
防臭効果で汗や生乾きなどのイヤな臭いを軽減

【優れた吸水性】

綿の2〜3倍の吸水性
肌に当てるだけで瞬時に水分を吸着するため肌への負担が少ない

笑働笑進

「笑働笑進」とは笑顔で働き、笑顔を生み出す商品を作り、一緒に働いてくれる仲間や応援してくれる方々、そしてお客様に感謝をして、必ずその先の世界に進むという意味の私の造語です。環境保全再生という言葉だけでは笑顔は生まれません。私達はこれから日本の竹を有益な資源として活用できるプラットフォームを作り、微力ながら環境保存再生に貢献していきたいと思います。そしてこれから先の未来に竹を通じて笑顔を創ることに突き進んでいきます。